

ページ INDEX

- 1 大学博物館等協議会2010年度大会・第5回博物科学会開催報告
(東北大学総合学術博物館 館長 柳田 俊雄)
- 3 京都大学総合博物館 自然史分野での国際共同研究の推進
(京都大学総合博物館 准教授 本川 雅治)
- 4 世界自然遺産白神山地の研究拠点が完成
(弘前大学白神自然環境研究所 准教授 中村 剛之)
- 6 各施設の活動状況
(九州大学総合研究博物館・愛知学院大学歯学部歯科資料展示室・
東京芸術大学大学美術館・新潟大学旭町学術資料展示館)

大学博物館等協議会2010年度大会・ 第5回博物科学会開催報告

東北大学総合学術博物館 館長 柳田 俊雄

大学博物館等協議会2010年度大会および第5回博物科学会が、6月24日(木)、25日(金)の2日間、東北大学で開催された。参加館は25館、参加人数は97名で、当日参加申込の方を含めると100名に達した。「地域と社会連携」「情報」「教育」「マネジメント」「学術」「展示」の6部門で発表数は24本、これに1階ロビーで行われたポスターセッションの17本をくわえると、全31本になった。

大会初日は、東北大学青葉山キャンパス青葉記念会館を会場として、柳田俊雄実行委員長、野家啓一本学理事、松隈明彦大学博物館等協議会会長の挨拶に続いて、文部科学省生涯学習政策局社会教育課企画官・岩佐敬昭氏から、博物館法施行規則の改正についての詳

細な説明をいただいた。その後、阿子島香東北大学大学院文学研究科教授による特別講演「歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画(大学院GP)の目指すもの」と題して、本学の有する考古資料、美術資料、古文書などの多様な資料を「歴史資源」として捉え、これらの専門分野における高水準な研究を基盤にした、学際的、国際的となる高度な学芸員の養成を目指した大学院GPの取り組みの特色等が紹介された。

引き続き、博物科学会の研究発表が行われ、「地域と社会連携」から4本と「情報」から1本の講演があった。午後3時45分からはポスターセッションがあり、熱心な意見交換が行われた。



会場入り口



ポスター会場



会場の様子

午後4時15分より館長会議・実務担当者会議が開かれ、翌25日朝9時から協議会総会・日本博物科学会総会が開催された。協議会総会では2009年度決算、2010年度予算案が承認され、新たに協議会への加盟を申請された弘前大学白神自然観察園が承認された。また、次期協議会は名古屋大学で開催されることが決まった。その他、議長より、当会のホームページ(<http://sites.google.com/site/museoacademiae/>)を開設したとの紹介、博物館施行規則の改正に伴う学芸員資格科目の問題点が出てきた場合に協議会がこれらをまとめて文部科学省に見解を聞くという対応の仕方について、さらに大学収蔵のコレクションデータベースのフォーマットの検討と、それを纏める方向ですすめるとの意見が示され、これらについて了承された。また、実務者会議からは、東京芸大薩摩氏から巡回展のアイデア募集と第一回目は東京が立ち上げたいという報告、各大学で学芸員資格関係の情報交換の仕組みの必要性についての報告、放射性同位体元素等に関する一斉点検についての報告などがあった。引き続き行われた博物科学会総会では、博物科学会入会者名簿(正会員、準会員)記載の入会申込者の審議と承認が行われ、了承された。また、当学会役員の勤務先で定年退職や転出が出てきたため、副会長が北海道大学馬渡氏から松枝氏、名古屋大学西川氏から吉田氏へ代わることの報告があり、了承された。

初日の館長会議・実務担当者会議の終了後は、参加者全員で理学部自然史標本館に移動して見学会が行われた。今春リニューアルし

たばかりの2階の常設展示には文字通りの人垣ができ、標本に食い入るようにして大勢が議論するようすは非常に印象的であった。懇親会は、初日の午後6時より、東北大学の理・薬生協AOSISレストランで開かれ、85名の会員が参加した。会の席上で、はじめに文部科学省の岩佐氏から、鲁迅の学んだ片平キャンパスの階段教室を訪れて感銘を受けたという挨拶があり、会は時間の経過とともに大いに盛り上がり、いつまでも歓談に興じた。大会2日目は総会終了後、19本の講演がおこなわれた。なお、昼休みには青葉記念会館の事務職員の方のご厚意により屋上展望ツアーが急遽生まれ、予想以上の参加があった。好天に恵まれて、遠く蔵王連峰から牡鹿半島までを一望のもとに眺めることができた。

こうして、大学博物館等協議会2010年度大会および第5回博物科学会が、盛会のうちに無事終了したのは、松隈協議会会長をはじめとする、参加会員の方々、開催校である東北大学の教職員の方々、アルバイト諸兄、そして関係者の多くの方々のご協力のたまものであったことは言うまでもない。心より感謝申し上げます。



東北大学理学部自然史標本館



懇親会の様子

京都大学総合博物館 自然史分野での国際共同研究の推進

京都大学総合博物館 准教授 本川 雅治

京都大学総合博物館は、京都大学創立以来の260万点以上の自然史標本を所蔵している。フィールドワークによる学術調査と標本収集といった京都大学の伝統がその背景にあることはいままでのない。現在も、京都大学総合博物館や他部局では、アジアを中心とした各国との国際共同研究と標本収集が、動物学、魚類学、植物学、古生物学といった多分野で行われている。一方で、近年になって多くの国では標本の国外への持ち出しが法令等によって制限され、相手国での標本保管が当たり前となり、その国に滞在することによる研究利用が必要になってきた。と同時に、京都大学総合博物館にすでに収蔵されている標本は、国内では新たに入手できない貴重なものである。また、タイプ標本をはじめとして相手国の研究者からの閲覧や照会が増加し、より適切な条件での永久保存が求められるようになってきている。

京都大学総合博物館を日本側拠点機関とする、日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業の研究課題「東アジア脊椎動物種多様性研究基盤と標本ネットワーク形成」が2011年度より3年間の予定で開始された。ここでは、京都大学で研究が盛んな陸上脊椎動物(主に哺乳類、爬虫類、両生類)の種多様性研究、特に系統分類学や動物地理学について中国、韓国、ベトナムとの多国間協同を行



中国・雲南省での共同フィールドワーク

い、多国間にまたがる研究基盤を形成しようとしている。標本コレクションをそれぞれの相手国に収蔵し、そこで調査研究を進めていくためには、日本が各国との二国間の枠組みを重ねていくだけでは不十分であり、日本が主導しながら多国間相互の協同体制を構築していくことが必要である。というのが本課題の基本的な考え方である。

実際には、フィールドワークによる調査や標本収集を多国間共同研究として行い、東アジアに分布する陸上脊椎動物の分布や分類について明らかにすることを目指す。また各国の標本コレクションを充実させ、そのネットワーク化をはかることにより、各国研究者間での標本情報の共有や相互利用が出来るようにしたい。さらに、毎年国際シンポジウムを開催する。これは各国研究者間の最新の研究動向をはじめとする情報共有に加えて、人的ネットワークの強化も目指している。今年8月に中国の広州大学で国際シンポジウムを開催し、日本、中国、台湾、韓国、ベトナムから陸上脊椎動物の主要研究者が集う予定である。本事業には参加国の大学院生や若手研究者が積極的に参加する予定で、将来の脊椎動物種多様性研究を担う若手研究者の育成も、各国研究者の連携のもとで推進する。

京都大学総合博物館が研究基盤である際に、その核となるのが標本コレクションである。また、同じことが、アジア各国の大学博物館や国立研究機関などでもいえる。このことから、大学博物館や国立研究機関が「標本」を共通の基盤にして、研究者のネットワーク形成、国際共同研究の推進、大学院生をはじめとする若手研究者の育成、そして標本コレクション自体の共同研究やネットワーク形成といった事業を進めることができるであろう。実際に本学術基盤形成事業に参加する研究者には、各国で主要な標本コレクションを管理する研究者が多数含まれている。標本コレクションを核にした協同体制の確立により各国の大学博物館や国立研究機関が世界に通用する自然史分野での研究ハブとなり、そこからネットワーク型研究基盤が形成されることが期待される。

京都大学総合博物館は2011年3月に上記課題の中国側拠点機関でもある広州大学生命科学学院と生物多様性分野における部局間学術交流協定を締結した。これは京都大学総合博物館がはじめて締結した学術交流協定である。引き続いて2011年4月にベトナム側拠点機関であるベトナム科学技術アカデミー生態学生物資源研究所とも課題実施のための学術交流協定を締結した。すでにのべたように標本コレクションを核とした協同体制の構築のために、今後も各国の主要研究機関との学術交流協定の締結が望まれる。また、国内の大学博物館とも自然史分野のコレクションや国際共同研究を軸にした連携体制をより強化していきたい。



広州大学との共同研究によるコレクション構築



広州大学との学術交流協定の締結

世界自然遺産白神山地の研究拠点が完成

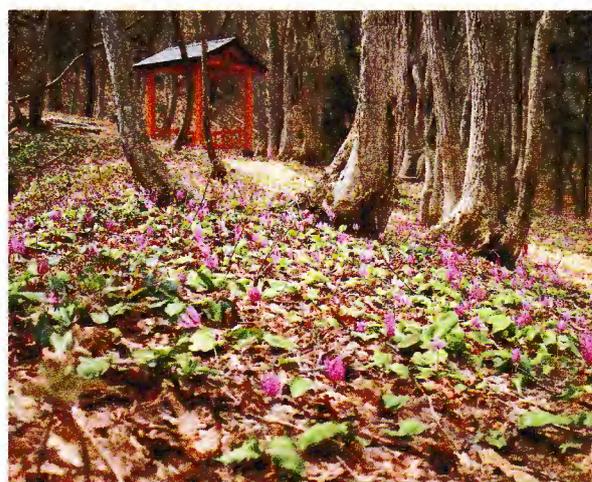
弘前大学白神自然環境研究所 准教授 中村 剛之

弘前大学では世界自然遺産に登録されている白神山地の自然や文化を調査研究し、学生や一般市民への環境教育を行う白神自然観察園の整備を進めてきた。観察園は2010年10月1日には新たに大学に新設された白神自然環境研究所の附属施設として位置づけられた。



弘前大学白神自然環境研究所

白神自然環境研究所および観察園は青森県西目屋村川原平にあり、世界遺産地域までは直線で3kmほどの間近な距離である。標高はおよそ240~330m。敷地はおよそ18haあり、スギやカラマツの植林地、ミズナラを主とした二次林、ブナ林等さまざまな形態の森林環境が見られる。園内には散策路と東屋



観察園内の散策路と東屋

が整備され、春にはイワウチワ、カタクリ、シラネアオイ、チゴユリ、オクエゾサイシン等さまざまな林床植物を見ることができる。園内は一般市民にも開放されているので、花を見に訪れる人も少なくない。この他、なかなか姿を現してはくれないが、ニホンカモシカ、ヤマネ、ツキノワグマ、ニホンザルなど、白神山地を代表する動物たちも園内に生息している。近くの池や水溜まりでは、クロサンショウウオ、トウホクサンショウウオ、ヤマアカガエル、モリアオガエルなどの繁殖活動も間近に観察することができる。今年も園内で猛禽類の営巣が確認されている。園内には気象観測装置も設置され、1年を通してデータの蓄積が行われている。

研究所は観察園の入り口にある2階建ての建物である。教員の研究室や実験室、研修室の他に、宿泊もできる畳敷きの部屋とシャワーも設置されており、夜間の調査や長期滞在しての調査への対応が可能になっている。多くの研究者の方々に白神山地研究の拠点として活用して頂けるよう期待している。

この観察園が付属する弘前大学白神自然環境研究所は「植物」「動物」「地象・気象」「教育・文化」の4部門、13人(専任3人、兼任10人)の教員からなる。教育・文化部門には、考古学、環境教育の専門家も加わっている。活動は教員や大学生による調査研究ばかりでなく、小学生から大人までを対象とした一般市民向けのセミナーや観察会も毎月開催している。また、中学校での出前授業、団体の受け入れ、講師派遣等を行っているほか、地域の

産業活性化をはかるシンポジウムを地域の自治体と共催で開催している。

白神山地とこれに関連する地域の動植物の標本収集は当研究所の活動の大きな柱の一つとなっている。コレクションは文字通りゼロからのスタートであるが、地域の方々の協力も頂きながら、昆虫類と維管束植物を中心に標本資料の収集を開始したところである。観察園は冬期雪に閉ざされて一時的に無人となるため、弘前大学文京町キャンパスの分室内に小さいながら収蔵室を設けた。収集資料はインターネット等を通じた公開を進め、多くの方に活用して頂きたいと考えている。

ホームページ：

<http://www.hirosaki-u.ac.jp/shirakami/>



文京町キャンパスの分室にある収蔵室



研究所で行われる市民向け講座

各施設の活動状況

(九州大学総合研究博物館・愛知学院大学歯学部歯科資料展示室・東京芸術大学大学美術館・新潟大学旭町学術資料展示館)

九州大学総合研究博物館

公開展示

「人のからだ・動物のからだ」

平成22年7月21日～8月30日

主催：九州大学総合研究博物館・

福岡市立少年科学文化会館

場所：福岡市少年科学文化会館学習室

総合研究博物館設立 10 周年企画



「光が泳ぐ場所」

平成22年5月10日～5月21日

場所：箱崎キャンパス旧工学部本館

5・6階展望室

「科学のえほんとハカセたち」

平成22年6月10日～8月21日

場所：箱崎キャンパス旧工学部本館

3階常設展示室



「箱崎残像 -MACHINA-」

平成22年11月20日

場所：箱崎キャンパス総合研究博物館

第一分館倉庫



「ツノゼミの世界」展

平成22年7月27日～8月20日

場所：箱崎キャンパス旧工学部本館3階

「ツノゼミと世界の昆虫」展

平成22年11月20日～平成23年1月30日

場所：志摩歴史資料館

「驚異の造形ツノゼミの世界」展

平成22年11月20日～平成23年3月13日

場所：石川県ふれあい昆虫館

特別展示

「九州大学教育研究の最前線

第9回 P & P 研究成果一般公開」

平成22年5月10日～6月11日

(5月23日休館)

場所：箱崎キャンパス旧工学部本館3階

サテライト展示

●福岡空港 第1ターミナル2階待合室

平成22年3月9日～

化石のヒミツVII

●福岡市保健環境研究所「まもるーむ」

平成21年11月13日～

川と海の命I

●志摩町総合保健福祉センター「ふれあい」

平成22年3月13日～5月7日

八女市岩戸山古墳

平成22年5月7日～8月22日

行橋市琵琶隈古墳

平成22年8月22日～11月19日

飯塚市山ノ神古墳

●二丈町健康ふれあい施設

「二丈温泉きららの湯」

平成22年3月13日～5月7日

対馬ガヤノキ遺跡

平成22年5月7日～8月22日

対馬塔の首遺跡

平成22年8月22日～平成23年1月16日
 一支国カラカミ遺跡
 平成23年1月16日～
 中山平次郎と今山の石斧

●前原市伊都文化会館

平成22年3月13日～5月7日
 伊都国三雲遺跡
 平成22年5月7日～8月22日
 奴国須玖岡本遺跡
 平成22年8月22日～平成23年2月1日
 奴国板付遺跡
 平成23年2月1日～
 ケテーテス海綿石板

●志摩歴史資料館

平成22年11月19日～平成23年2月1日
 ケテーテス海綿石板
 平成23年2月1日～
 放散虫化石

その他の共催展示

韓日現代美術展「おとなりさん。」箱崎会場

平成22年12月6日～13日、
 平成23年1月22日～1月30日
 場所:箱崎キャンパス総合研究博物館
 第一分館倉庫
 主催:福岡市文化芸術振興財団、
 九大文学部AQAプロジェクト

愛知学院大学歯学部歯科資料展示室

cop10関係記念企画展
 「あいちのニホンカモシカ」

平成22年10月11日～平成22年10月31日
 会場 名古屋市科学館
 主催者 名古屋市科学館
 特別協力 愛知学院大学歯学部歯科資料
 展示室
 協力 三重県立博物館他
 特記 ニホンカモシカの骨格標本を
 200体程展示



特別展「最新の歯科医療」

平成22年11月27日～平成23年12月末
 会場 愛知学院大学歯学部歯科資料
 展示室(楠元学舎内)
 主催者 愛知学院大学歯学部歯科資料
 展示室



2010年度 東京芸術大学大学美術館 主要展覧会

場所はすべて東京芸術大学大学美術館

コレクション展 Part1:朝倉文夫
 Part2:芸大コレクション

平成22年4月5日～6月6日(56日間)
 内容:台東区朝倉彫塑館のコレクション
 と芸大美術館のコレクションを
 同時期に対置して展示すること
 で、双方に新たな視点を提供した。
 ミュージアムにおけるコレクショ
 ンの意味と意義を改めて考察した
 展覧会。

シャガール

— ロシア・アヴァンギャルドとの出会い —
 交錯する夢と現実

平成22年7月3日～10月11日(88日間)
 内容:パリのポンピドー美術館、福岡市美
 術館、朝日新聞社との共同企画。一
 般にはエコール・ド・パリの画家と
 して知られるロシア出身のフラン
 ス国籍の画家マルク・シャガールの
 作品を、同時代のロシア美術作品
 の中に併置して、ロシア美術の歴
 史・文脈の中で再検討することを目
 的とした。

黙示録：デューラー/ルドン

平成22年10月23日～12月5日(38日間)
 内容:メルボルン国立ヴィクトリア美術館、国立西洋美術館、町田市立国際版画美術館、明治大学図書館などの協力を得て、西洋キリスト教美術の代表的な主題である「黙示録」を表現した写本ファクシミリ、書籍、木版画、銅版画など107点を一堂に集めて展示した。

明治の彫塑 ラグーザと荻原碌山

平成22年10月23日～12月5日(38日間)
 内容:日本の彫塑に大きな影響を与えたふたり、イタリア・アカデミズムの正統を引くラグーザと、ロダンの影響を受けた碌山に焦点を当てて、日本の近代彫塑を技法から表現まで検証した展覧会。碌山の絶作《女》の3Dスキャナーデータに基づく新たな鋳造も行った。

博士審査展

平成22年12月12日～12月24日(11日間)
 内容:大学院美術研究科博士課程の修了制作の公開審査を兼ねた展覧会

卒業・修了制作展

平成23年1月29日～2月3日(6日間)
 内容:美術学部の卒業制作、大学院美術研究科修士課程の修了制作の一般公開展示

ぼくの色、わたしの形

平成23年2月6日～2月9日(4日間)
 内容:台東区教育委員会との共同企画。台東区の小中学生たちの作品を展示しながら、新たな展示理念・方法・技法を研究した。

平成22年度 新潟大学旭町学術資料展示館 展示活動記録

企画展示

会期	展示名称	会場
2010/ 3/ 1～ 4/30	あさひまち展示館友の会 私のお宝展	旭町学術資料展示館
2010/ 3/ 1～ 6/30	新大資料からみる江戸のなりわい	旭町学術資料展示館
2010/ 4/ 1～ 5/30	中田瑞穂・平澤興作品展	旭町学術資料展示館
2010/ 6/ 6～ 8/29	資料からみる新潟地震の記憶	旭町学術資料展示館
2010/ 6/ 6～ 8/28	LIGHTTRIAL	旭町学術資料展示館
2010/ 7/ 1～10/31	江戸の怪談・奇談	旭町学術資料展示館
2010/ 9/11～11/24	新潟情景展	旭町学術資料展示館
2010/ 9/18～11/11	壺谷雄高って何者だ	旭町学術資料展示館
2010/11/ 4～2011/2/27	料理本からみる江戸のたべもの	旭町学術資料展示館
2010/12/ 1～2011/2/27	戦争・平和を考える	旭町学術資料展示館
2010/12/ 4～2011/3/19	母貝旋「一人の旅」・手塚千晴「在る会話」	旭町学術資料展示館
2011/ 3/ 9～ 6/30	江の生きた時代	旭町学術資料展示館
2011/ 3/16～ 4/10	第2回あさひまち展示館友の会 私のお宝展	旭町学術資料展示館



母・手塚展 展示風景

サテライトミュージアム

会期	展示名称	会場
2010/ 2/22～ 5/ 5	教科書の移り変わり	駅南キャンパスときめいと
2010/ 5/ 8～ 6/10	新潟大学はおいしい(農)	駅南キャンパスときめいと
2010/ 6/15～ 7/11	医学が読み解く新潟の100年(医)	駅南キャンパスときめいと
2010/ 7/14～ 8/31	アンモナイト展(理)	駅南キャンパスときめいと
2010/ 9/16～11/ 4	本が歴史を変える?!(図)	駅南キャンパスときめいと
2010/11/ 7～12/12	古墳時代の豪族居館跡(人文)	駅南キャンパスときめいと
2010/12/23～2011/2/27	資料からみる新潟地震の記憶	駅南キャンパスときめいと
2011/ 3/ 1～ 5/9	佐渡金銀山を世界遺産に!	駅南キャンパスときめいと
2010/ 2月～5月	西区DEアート	医歯学総合病院(医科)
2010/ 6月～	教科書の移り変わり	医歯学総合病院(医科)
2009/10月～2010/7/15	群馬県今井学校遺跡2009年の調査結果	医歯学総合病院(歯科)
2010/10/13～	絵はがきにみる昭和の旅風景	医歯学総合病院(歯科)
2010/ 2月～	清水内遺跡剥離標本	中央図書館

移動博物館

会期	展示名称	会場	備考
2010/ 4/27～ 5/23	佐渡金銀山を世界遺産に!	十日町市博物館	共催:十日町市博物館
2010/ 7/25～ 8/22	群馬県今井学校遺跡2009年の調査成果	伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館	協力:伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館
2010/10/ 1～10/30	佐渡金銀山を世界遺産に!	道の駅 豊栄	協力:国土交通省北陸地方整備局新潟国道事務所

MUSEO ACADEMIAE 第13号
 大学博物館等協議会ニューズレター

発行日 平成23年6月
 発行者 大学博物館等協議会
 編集 〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1
 九州大学総合研究博物館 092-642-4252